I-O DATA

MANU001533

取　扱　説　明　書

モバイルディスプレイ
YC1412D シリーズ

HDMI

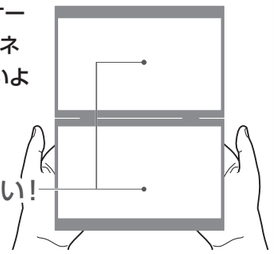
レシート・納品書は本書に貼って保管してください

修理の際には、購入日・型番の証明（レシート・納品書など）が必要です。
レシート・納品書などは、本書に貼り付けて大切に保存してください。

レシート・納品書　貼付位置

ご注意：製品本体に強い力が加わると液晶パネル破損の原因になります

●本製品を設置する際やケーブルを抜く際は、液晶パネル（液晶画面）に触らないようご注意ください。
破損の原因になります。



●本体を上から強く押さないようにご注意ください。
破損の原因になります。



ご注意：本体の開閉部に指や手を入れると、けがの原因になります

●開閉時、上下画面の間やヒンジ部などの可動部には触れないようご注意ください。
けがの原因になります。

添付品を確認する

- □ USB ケーブル※ [C-C USB 3.2 Gen1]



- □ HDMI ケーブル [HDMI-miniHDMI]



- □ 取扱説明書（本書）

※USB ケーブルを別途用意する場合は、[USB PD 対応、eMarker 内蔵 5A 対応の USB3.2 Gen1 ケーブル] をご用意ください。

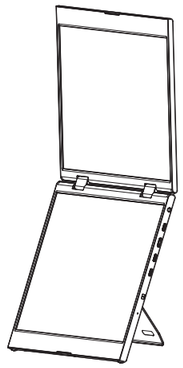
使う

1. 設置する

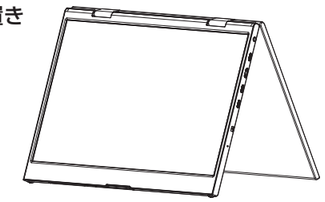
本製品のスタンドを開き、使い方に応じて設置してください。

スタンドに無理な力を加えないでください
破損の原因となります。

■上下 2 面置き



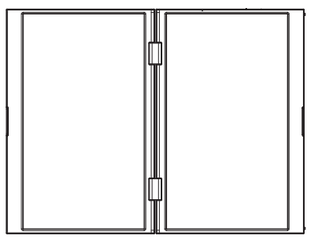
■対面置き



※上の画面は自動的に見やすくなるように回転して映像を表示します。

■左右 2 面置き

本製品のスタンドを最大まで開き、2 つの画面がまっすぐになるようにしてから設置します。



※スタンドを最大まで開き、2 つの画面がまっすぐになっていないと倒れるおそれがあります。
※画面は回転しません。お使いの映像機器側で向きを調整してください。

2. 使い方を決める

本製品には 3 つの表示モードがあります。

拡張モード
2 画面に別々の映像を表示します。
映像機器からは、2 つのディスプレイとして認識します。

●1 台の映像機器で 2 画面表示する
- Windows：
  - USB-C でつなぐ場合…1 本で 2 画面表示できます。
  - HDMI/USB-C でつなぐ場合…2 画面表示できます。
- その他：
  映像機器が複数の映像出力に対応している場合、本製品と映像機器の 2 つの映像出力端子とをケーブルでつないでください。

※詳細な対応環境については、本製品の商品ページをご覧ください。

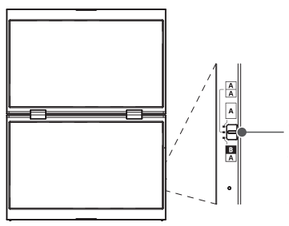
●2 台の映像機器で 2 画面表示する
拡張モードでは、映像機器を 2 台つないで上下にそれぞれの映像を表示することもできます。

複製モード
2 画面に同じ映像を表示します。
映像機器からは、1 つのディスプレイとして認識します。

大画面モード
2 画面を 1 つの大きな画面として映像を表示します。映像機器からは、1 つのディスプレイとして認識します。

3. 表示モードを設定する

使う表示モードを決めたら、表示モード切換スイッチを設定します。



上	A	大画面モード
中央	A A	複製モード
下	B A	拡張モード

4. 映像機器とつなぐ

映像機器によってつなぎ方が異なります。

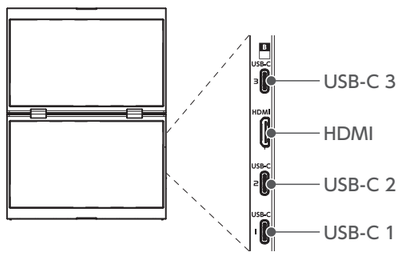
■USB-C で映像機器をつなぐ
①映像機器を USB-C 1 または 2 につなぐ
②USB-C から給電され、映像を表示します。

片方の画面にだけ映像を表示する方法
本製品の表示モードを拡張モードに設定し、USB-C 3 に映像機器をつなぐと、縦置き時の上の画面にだけ映像を表示します。

■HDMI で映像機器をつなぐ
①映像機器を HDMI につなぐ
②USB Power Delivery 対応充電器（15W 以上給電可能なもの）とケーブルを別途用意し、USB-C 1 または 2 につなぐ
③充電器から給電されると、映像を表示します。

2 台の映像機器をつなぐ
本製品の表示モードを拡張モードに設定し、2 台の映像機器をつなぎ、それぞれの映像を各画面に表示することができます。
※それぞれの映像をどちらの画面に表示するかについては、メニューから設定できます。

USB-C 2 台	1 台目：USB-C 1 または 2 につなぐ 2 台目：USB-C 3 につなぐ
USB-C HDMI	USB-C：USB-C 1 または 2 につなぐ HDMI：HDMI につなぐ

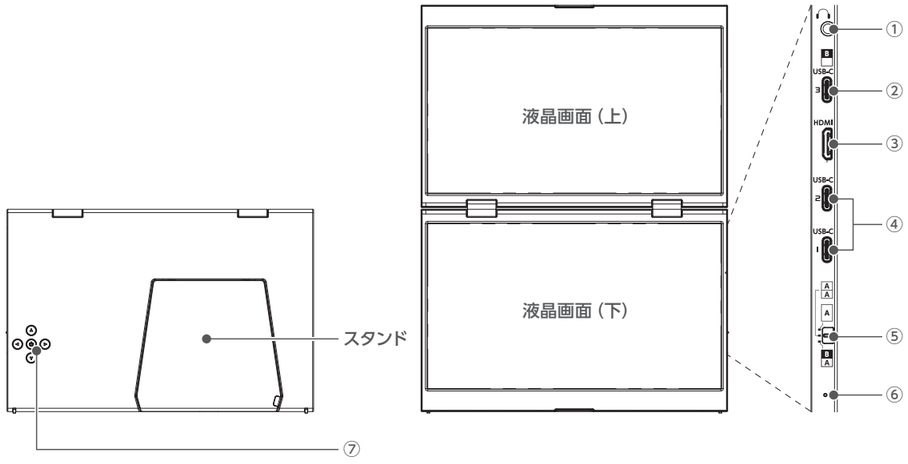


5. 本製品の設定をする

本製品の Web マニュアルである「詳細ガイド」に記載しています。ご覧ください。

https://www.iodata.jp/lib/manual/yc1412d/

各部の名称・機能



① ヘッドホン端子
ヘッドホンをつなぐことができます。
※ヘッドホンを装着したままつながないでください。

② USB-C 3 端子
映像機器からの映像を液晶画面（上）に入力します。
※パソコンに映像出力（DisplayPort Alt Mode）対応の USB Type-C ポートが必要です。

③ HDMI(miniHDMI) 端子
映像機器からの映像を入力します。
※HDMI（miniHDMI）端子を使う場合、USB Power Delivery 対応充電器（15W 以上給電可能なもの）とケーブルを別途用意し、④につなぐ必要があります。

④ USB-C 1、2端子
映像機器からの映像を入力します。
※ご注意
- 別途給電する場合も USB-C1、2 端子どちらかにつなぎます。
- パソコンに映像出力（DisplayPort Alt Mode）対応の USB Type-C ポートが必要です。
- USB-C 1、2端子へは 1 つの映像機器だけをつないでください。USB-C 1、2端子の両方に映像機器をつないで映像表示することはできません。片方の映像機器を USB-C 3 端子につないでください。

⑤ 表示モード切換スイッチ
3 つの表示モードから選べます。表示モードについては表面の【使う】をご覧ください。

上	A	大画面モード
中央	A / A	複製モード
下	B / A	拡張モード

⑥ 電源ランプ
本製品の電源状態を表します。

青点灯	電源入
青点滅	電源不足※1
橙点灯	待機状態
消灯※2	電源切

※1 別途用意した USB Power Delivery 対応充電器（15W 以上給電可能なもの）とケーブルをつないでください。
※2 設定によっては、電源切以外の状態でも消灯するようにできます。

⑦ 本体ボタン
本製品を操作します。

電源切時	⏻	電源を入れる
通常時	⏻	（短押し）メニューを表示
	⏻	（3 秒長押し）電源を切る
	▲▼◀▶	メニューを表示
メニュー時	⏻	決定
	▲▼◀▶	項目・値の選択

安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

▼ 警告および注意表示

⚠ 警告	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことがあります。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

▼ 絵記号の意味

⃠	禁止
❗	指示を守る

⚠ 警告

⃠ **本製品を修理・分解・改造しない**
発火や感電、破裂、やけど、動作不良の原因になります。

⃠ **雷が鳴り出したら本製品に触れない**
感電の原因になります。

⃠ **本製品を以下のような場所に設置しない**
事故の原因になります。
- ●運転や移動の妨げになるところ
- ●エアバッグ動作の妨げになるところ
- ●前方の視界を妨げるところ
- ●夜間トンネル内などで本製品の画面がフロントガラスに映り込むようなところ（前方の視界の妨げになります）

⃠ **梱包用のビニール袋や取り外した小さな部品（端子カバーなど）を乳幼児の手の届くところに置かない**
ビニール袋をかぶったり、小さな部品を誤って飲み込んだりすると、窒息の原因になります。

⃠ **本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かない**
発火の原因になります。

⃠ **故障や異常のまま、つながない**
本製品に故障や異常がある場合は、必ずつないでいる機器から取り外してください。そのまま使うと、発火・感電・故障の原因になります。

⃠ **本製品をぬらしたり、水気の多い場所で使わない**
水や洗剤などが本製品にかかると、隙間から浸み込み、発火・感電の原因になります。
- ●特にお風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺では使わない
- ●水の入ったもの（コップ、花びんなど）を上に置かない
- ●万一、本製品がぬれてしまった場合は、絶対に使わない

⃠ **液晶パネルから漏れた液体（液晶）には触れない**
誤って液晶パネルの表示面を破壊し、中の液体（液晶）が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけないようにしてください。
- ●液体が目や口に入った場合：すぐに水で 5 分以上洗い、医師の診断を受けてください。
- ●皮膚や衣服に液体が付着した場合：すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。そのまま放置すると、皮膚や衣服を傷めます。

⃠ **本製品を飛行機の中で使用しない**
飛行機の計器などの誤動作の原因になります。飛行機の中ではコンピューターから本製品を取り外してください。

⃠ **ダッシュボードの上や夏場の車内など高温になる場所に設置や放置をしない**
高温になり、発火の原因になります。

⚠ 注意

❗ **眼精疲労を防ぐため、以下を守る**
ディスプレイを見る作業を続けるときは、ディスプレイ画面の明るさ、書類およびキーボード面における明るさと周辺の明るさの差をなるべく小さくしてください。また、連続作業をするときは、1時間に10分から15分程度の休憩をとってください。長時間ディスプレイを見続けると、眼に疲労が蓄積されます。

⃠ **人が通行するような場所に配線しない**
足を引っ掛けると、けがの原因になります。

⃠ **以下のような場所で保管・使用しない**
けがや故障の原因になります。
- ●振動や衝撃の加わる場所
- ●傾いた場所
- ●腐食性ガス雰囲気中（Cl2、H2S、NH3、SO2、NOx など）

⃠ **電源を入れた状態で、あお向けにして使わない**
内部に熱がこもり、発火の原因になります。

❗ **磁石部を磁気に弱いものへ近づけない**
スタンド収納部には磁石があります。携帯電話、アナログ時計、フロッピーディスク、磁気カード、磁気テープ、乗車券など、磁気に弱いものへ近づけないでください。装置および記憶内容の破壊の原因になります。

⃠ **液晶パネルの表面を傷つけない**
- ●画面を強く押したり、衝撃を与えたりしない
  画面に力が加わると、破損や故障、けがの原因となることがあります。
- ●画面を先のとがった物で押さない
  破損や故障、けがの原因となることがあります。
- ●硬いものでこすったり、たたいたりしない
  破損してけがの原因となることがあります。

⃠ **本製品を踏まない**
破損し、けがの原因になります。特に、小さなお子様にはご注意ください。

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

使用上の注意

■設置箇所について
高所に設置しないでください。万が一本体もしくは部品が落下した場合、けがの原因になります。

■画面の焼き付きを防ぐために
同じ画面を長時間表示させていると画面の焼き付きを起こすことがあります。
- ●パソコンやディスプレイを使用しないときは電源を切る。
- ●なるべく、省電力機能またはスクリーンセーバー機能を使う。

■お手入れ方法
本製品についた汚れなどを落とす場合は、柔らかいきれいな布で軽く乾拭きしてください。
- ●汚れがひどい場合は、水で十分に薄めた中性洗剤に布をひたして、よく絞ってから汚れを拭き取り、最後に乾いた布で拭いてください。
- ●ベンジン、シンナー、アルコール、消毒薬、化学ぞうきん、クリーナー / クリーニングペーパーなどは使わないでください。
  変質やひび割れなどの原因になります。
- ●液晶パネルに水滴などをつけたまま放置しないでください。水滴などがついた場合はすぐに乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。
  放置しておくと液晶パネルが変色したり、シミの原因になります。また、水分が内部へ入ると故障の原因になります。

■バックライトについて
本製品に使用しているバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、新しい液晶パネルへの交換が必要です。
※ご自分での交換は絶対にしないでください。交換等につきましては、弊社サポートセンターへお問い合わせください。
※液晶パネルは非常に高価です。有料による液晶パネル交換は高額になることをあらかじめご了承ください。

■有寿命部品について
- ●本製品には有寿命部品（電源ユニット /AC アダプター、メインボード、電解コンデンサー、液晶パネル / バックライトまたは有機 EL パネル等）が含まれています。
- ●有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や条件により異なります。本製品を 25℃環境において通常使用した場合、1 日約 12 時間の使用で約 3 年です。ただし、上記はあくまでも目安です。故障しないことや無料修理をお約束するものではありません。使用環境や使用状況により、製品の保証期間内であっても、有寿命部品の交換修理（有料）が必要となる場合があります。
- ●本製品は 24 時間連続使用を前提とした設計ではありません。24 時間連続使用した場合は保証対象外となり、製品の保証期間内であっても有料修理となります。

■1日12時間を超える使用は避けてください
本商品は、24時間連続使用を前提とした商品ではありません。1日12時間以内(環境温度25℃)での使用を前提に設計されています。長時間連続して使用した場合は、有寿命部品の消耗を加速させる原因となります。1日12時間を超えるご利用は避けてください。

■その他
- ●直射日光が当たる場所で使用・保管しないでください。変形や変色の原因になります。
- ●お使いにならないときは、ほこりが入らないようカバーなどをかけてください。
- ●液晶パネルの周囲を押さえたり、その部分に過度の負担がかかる状態で持ち運んだりしないでください。液晶パネルが破損する恐れがあります。
- ●液晶パネル上に滅点（点灯しない点）や輝点（点灯したままの点）がある場合があります。これは、液晶パネル自体が 99.999%以上の有効画素と 0.001%の画素欠けや輝点をもつことによるものです。故障、あるいは不良ではありません。修理交換の対象とはなりませんので、あらかじめご了承ください。
- ●見る角度や温度変化によっても色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、故障あるいは不良ではありません。修理交換の対象とはなりませんので、あらかじめご了承ください。

【VCCI 規格について】

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
VCCI-B

【商標について】
- ●記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。
- ●HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMI のトレードドレス、および HDMI ロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。